

「相愛大学大学院音楽研究科（修士課程）」  
Soai University Graduate School (Osaka)  
【設置認可申請中】

2017年6月23日説明会資料

本資料の掲載内容は『予定』です。  
募集要項（9月上旬発行）でご確認ください。

相愛大学大学院 音楽研究科 音楽専攻  
【設置認可申請中】  
2017年6月23日説明会資料

目 次

1. 教育研究上の理念・目的及び3つのポリシー	p.3
2. 入学試験等について	
① 入学定員	p.4
② 試験科目・日程	p.4
③ 試験内容	p.4
3. 学費・諸経費	p.5
4. カリキュラムについて	
① カリキュラム	p.6
② 履修モデル	p.7
5. 音楽研究科 音楽専攻 修士課程 指導教員	p.8
6. 奨学金制度について	p.8
7. お問い合わせ	p.8

## 1. 教育研究上の理念・目的及び3つのポリシー

### \* 教育研究上の理念

相愛大学は大乗仏教経典『仏説無量寿経』に示された「當相敬愛」の精神、すなわち「他者を敬い愛するところの徳」を建学の精神とし、音楽教育において明治末期より今日に至るまで、高度な音楽的技術の修得にとどまらず、宗教的情操を備え、感性豊かで優れた音楽家、音楽教育者、音楽研究者ならびに音楽文化と産業の振興に貢献できる人材を育成してきた。相愛大学大学院音楽研究科では、この理念を継承しつつ、その真髄を究めるために、さらに高度な演奏技能・創作能力・研究能力を養い、同時にその技能・能力・知識を発揮するための教養を涵養し、多様性を帯びてきている音楽の諸相に対応し得る見識を養うことによって、音楽を幅広く総合的に捉えるための深い学識を授けることを教育研究上の理念とする。

### \* 教育研究上の目的

クラシック音楽について高度で深遠な技能と学識を有し、加えてその能力を活用し得る企画力と実践力を修得した高度の専門的職業人の養成を通して、社会的要請に即した国内外の芸術文化の進展に寄与することを目的とする。

### \* アドミッションポリシー（入学者受入れ方針）

相愛大学大学院音楽研究科は、音楽文化の水準を進展するための深遠な学識を究め、卓越した能力を持つ演奏家、作曲家、音楽研究家をめざすとともに、クラシック音楽に求められる多様な社会的要請に対応する意欲を持つ人材を受け入れる。

- 1) 音楽専攻声楽領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。声楽を主として音楽文化に貢献するために必要な知識と技能を有し、オペラ、歌曲など声楽のさらなる表現の探求に強い意志があること。
- 2) 音楽専攻鍵盤領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。鍵盤楽器を主として音楽文化に貢献するために必要な知識と技能を有し、ピアノを中心としてさらなる表現の探求に強い意志があること。
- 3) 音楽専攻器楽領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。器楽（管楽器、弦楽器、打楽器）を主として音楽文化に貢献するために必要な知識と技能を有し、オーケストラや室内楽、独奏などにおいてさらなる表現の探求に強い意志があること。
- 4) 音楽専攻作曲領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。作曲を通じて音楽文化に貢献する強い意志があり、新たな技術と表現を探求するために必要な素質と知識があること。
- 5) 音楽専攻音楽学領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。音楽研究者として音楽文化に貢献する強い意志があり、研究を進めるために必要な音楽史的見地と学術的考察力があること。

\* カリキュラムポリシー (カリキュラムの編成方針)

相愛大学大学院音楽研究科は、優れた演奏技能・創作能力・研究能力を有する演奏家、作曲家、音楽研究家であると同時に、その能力を活用する高度の専門性と応用力によって音楽文化の水準を維持・向上させ、加えて創意工夫を凝らした独創的且つ自立的な音楽活動並びに芸術文化を牽引できる人材の育成をめざし、課程に共通した授業科目及び学生個々の専門領域に応じた授業科目によって教育課程を編成し実施する。また、修士演奏、修士作品、修士論文制作のために必要な研究指導を行う。

\* ディプロマポリシー (学位授与方針)

本学大学院に2年以上在籍して所定の授業科目30単位以上を修得し、且つ以下に示す能力を身に付け、研究の成果の審査及び試験に合格した学生に対して「修士(音楽) Master of Music」の学位を授与する。

- 1) クラシック音楽の高度で深遠な技能や学識
- 2) クラシック音楽の専門性を活かした自立的音楽活動を展開する能力
- 3) 音楽の専門的表現を用いて芸術文化を牽引できる能力
- 4) 音楽におけるさまざまな領域の相互関連を理解し、多様な音楽的価値観に共感できる能力

2. 入学試験等について

① 入学定員

試験	専攻名	領域	入学定員
前期選抜試験	音楽専攻	声楽／鍵盤／器楽（管楽器・弦楽器／打楽器）／作曲／音楽学	8名
後期選抜試験			

② 試験科目・日程

	試験科目	試験日程
前期選抜試験	専門試験、口頭試問、学科試験	2017年10月下旬(2日間)
後期選抜試験	専門試験、口頭試問、学科試験	2018年3月上旬(2日間)

③ 試験内容

1) 専門試験

- ・声楽、鍵盤、器楽領域を志望する者は、演奏実技試験
- ・作曲領域を志望する者は、作曲実技試験
- ・音楽学領域を志望する者は、小論文試験

※専門試験の実技課題は、後日公表

- 2) 研究計画（出願時に所定の書式により提出）及び口述による試問  
あらかじめ提出された研究計画について試問する。これに加えて出願者の志望する領域における知識を問う。
- 3) 外国語（英語）試験  
読解力の試験を課す。英和辞典の持ち込み可。
- 4) 西洋音楽史  
西洋音楽史における諸側面・諸問題について問う。
- 5) 音楽学を研究領域とし、研究に実演を伴う場合、上記の試験以外に、演奏技能が研究の遂行に資するか否かを判定する「適性検査」を実施します。（課題は、後日公表）

### 3. 学費・諸経費

	入学金	授業料	施設費	合計
入学年次	200,000 (100,000)	960,000	430,000	1,590,000 (1,490,000)
2年次	—	960,000	430,000	1,390,000
合計	200,000 (100,000)	1,920,000	860,000	2,980,000 (2,880,000)

※相愛大学の卒業生が入学する場合は、入学金は半額となります。（ ）内金額。

#### 4. カリキュラムについて

##### ① カリキュラム

[大学院音楽研究科音楽専攻]

科目 区分	授業科目の名称	単位数			年 次	形 態	期 間	履修条件	
		必 修	選 択	自 由					
共通 科目	西洋芸術音楽総合演習Ⅰ	1			1		半期	[2単位以上]	
	西洋芸術音楽総合演習Ⅱ	1			1		半期		
専 門 科 目	専門特論科目	現代音楽特論		2		1	講義	半期	声楽・鍵盤・器楽・作曲の 領域を履修する者は、 [16単位以上] 音楽学の領域を履修する者 は、 [20単位以上]
		スコア・リーディング		2		1	講義	半期	
		楽書講読 A		2		1	講義	半期	
		楽書講読 B		2		1	講義	半期	
		音楽によるアウトリーチ A		2		1	講義	半期	
		音楽によるアウトリーチ B		2		2	講義	半期	
		音楽療法特論A		2		1	講義	半期	
		音楽療法特論 B		2		1	講義	半期	
	専門演習科目	オペラ特別演習Ⅰ		2		1	演習	通年	
		オペラ特別演習Ⅱ		2		2	演習	通年	
		オーケストラ特別演習Ⅰ		2		1	演習	通年	
		オーケストラ特別演習Ⅱ		2		2	演習	通年	
		室内楽特別演習Ⅰ		2		1	演習	通年	
		室内楽特別演習Ⅱ		2		2	演習	通年	
		演奏理論特別演習Ⅰ		2		1	演習	通年	
		演奏理論特別演習Ⅱ		2		2	演習	通年	
		作品分析特別演習Ⅰ		4		1	演習	通年	
		作品分析特別演習Ⅱ		4		2	演習	通年	
		西洋音楽史特別演習 A		4		1	演習	通年	
西洋音楽史特別演習 B		4		2	演習	通年			
副科特別実技Ⅰ		2		1	実技	通年			
副科特別実技Ⅱ		2		2	実技	通年			
専 門 研 究 科 目	声楽専門実技Ⅰ		4		1	実技	通年		
	声楽専門実技Ⅱ		4		2	実技	通年		
	鍵盤専門実技Ⅰ		4		1	実技	通年		
	鍵盤専門実技Ⅱ		4		2	実技	通年		
	器楽専門実技Ⅰ		4		1	実技	通年		
	器楽専門実技Ⅱ		4		2	実技	通年		
	作曲専門実技Ⅰ		4		1	実技	通年		
	作曲専門実技Ⅱ		4		2	実技	通年		
	音楽学研究演習Ⅰ		4		1	演習	通年		
	音楽学研究演習Ⅱ		4		2	演習	通年		
	作品研究報告書制作 (研究指導)	-	-	-	1~2		通年		
								声楽・鍵盤・器楽・作曲の 領域を履修する者は、 [12単位以上] 音楽学の領域を履修する者 は、 [8単位以上]	

## ② 履修モデル

### (1) 演奏家（声楽領域を履修する学生の履修例）

30 単位履修

		1 年次	2 年次
共通科目		(前期) 西洋芸術音楽総合演習 I	
		(後期) 西洋芸術音楽総合演習 II	
専 門 科 目	専門特論科目	(前期) 現代音楽特論 (後期) スコア・リーディング	(前期) 楽書講読 A (後期) 楽書講読 B
	専門演習科目	(通年) オペラ特別演習 I (通年) 演奏理論特別演習 I	(通年) オペラ特別演習 II (通年) 演奏理論特別演習 II
専門研究科目		(通年) 声楽専門実技 I	(通年) 声楽専門実技 II
		(通年) 作品研究報告書制作 (研究指導) 1～2 年次を通して研究指導教員から研究指導をうけ、その成果である「修士演奏」を披露する。	

### (2) 官公庁・地方自治体・文化振興財団等（鍵盤領域を履修する学生の履修例） 30 単位履修

		1 年次	2 年次
共通科目		(前期) 西洋芸術音楽総合演習 I	
		(後期) 西洋芸術音楽総合演習 II	
専 門 科 目	専門特論科目	(前期) 現代音楽特論 (後期) 音楽によるアウトリーチ A	(前期) 音楽によるアウトリーチ B (後期) 音楽療法特論 B
	専門演習科目	(通年) 室内楽特別演習 I (通年) 演奏理論特別演習 I	(通年) 室内楽特別演習 II (通年) 演奏理論特別演習 II
専門研究科目		(通年) 鍵盤専門実技 I	(通年) 鍵盤専門実技 II
		(通年) 作品研究報告書制作 (研究指導) 1～2 年次を通して研究指導教員から研究指導をうけ、その成果である「修士演奏」を披露する。	

### (3) 芸術文化等研究機関（音楽学領域を履修する学生の履修例）

30 単位履修

		1 年次	2 年次
共通科目		(前期) 西洋芸術音楽総合研究 I	
		(後期) 西洋芸術音楽総合研究 II	
専 門 科 目	専門特論科目	(前期) 楽書講読 A (後期) 楽書講読 B	(前期) 現代音楽特論 (後期) 音楽療法特論 B
	演奏特別演習	(通年) 西洋音楽史特別演習 A (通年) 副科特別実技 I	(通年) 西洋音楽史特別演習 B (通年) 副科特別実技 II
専門研究科目		(通年) 音楽学研究演習 I	(通年) 音楽学研究演習 II
		(研究指導) 1～2 年次を通して研究指導教員から研究指導をうけ、その成果である「修士論文」を制作する。	

## 5. 音楽研究科 音楽専攻 修士課程 指導教員

指導教員等に関する事項につきましては、相愛大学学長室までお問い合わせください。

## 6. 奨学金制度について

(検討中)

## 7. お問い合わせ

相愛大学 学長室

電話：06-6612-5902